

令和6年度栃木県大学地域連携活動支援事業

文化交流の交差点「栃木」 の起源を縄文時代に探るVI



國學院大學栃木短期大学

令和6年度の活動

- 北寺遺跡発掘調査
- 縄文まつり
- スキルアップ研修
(埼玉県立歴史と民俗の博物館)
- 学習講座 第1・2講
第3講
- シンポジウム
- ワークショップ
- 速報展
- 北寺遺跡遺物整理

8月19日～23日

8月24日

9月28日

10月6日

11月9日

11月2日

10月12日・26日・11月9日・16日

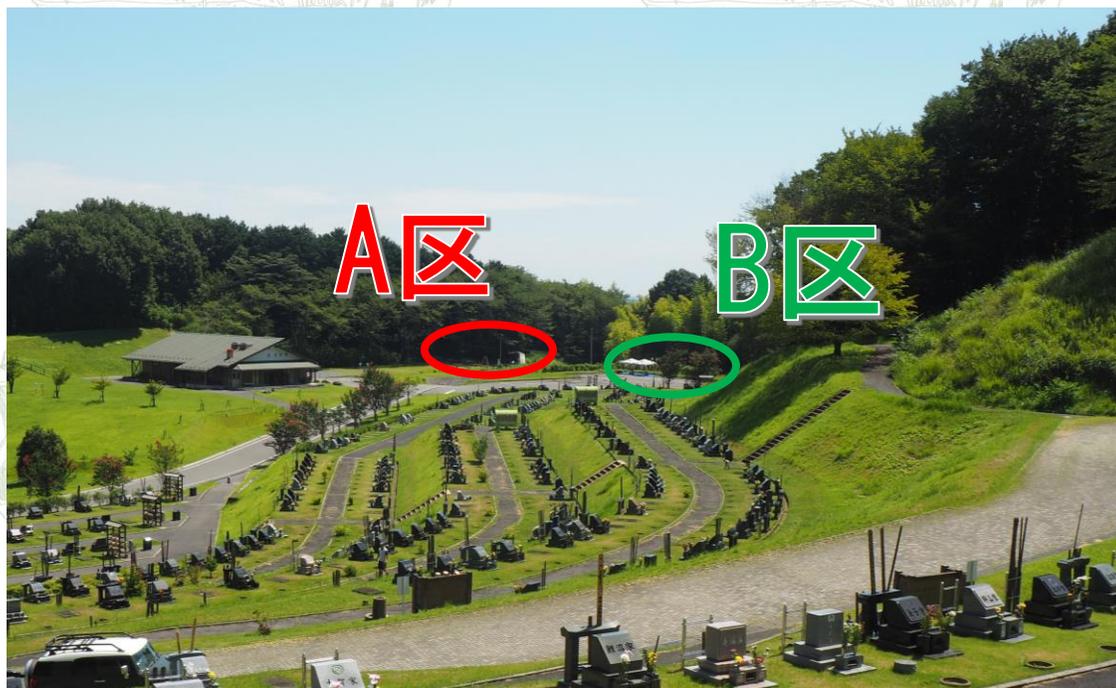
10月26日・12月11日～12月24日

9月～2月

北寺遺跡概要

- 栃木市都賀町の聖地公園南端部に位置する縄文時代早期後半(約7500年前)の遺跡
- 湧水点を取り囲む位置にあたり、縄文時代の狩人たちが陥穴(おとしあな)を設けたり、狩猟キャンプを営んだ場所と推定される。
- 今年度が初の調査
- 栃木市内では早期の遺跡は3ヶ所確認されており、縄文時代では最も古い段階の遺跡である。

北寺遺跡の位置



調査区的位置（北西から撮影）



上空からみた遺跡の位置

調査区的位置と遺跡の推定範囲

遺跡の推定範囲

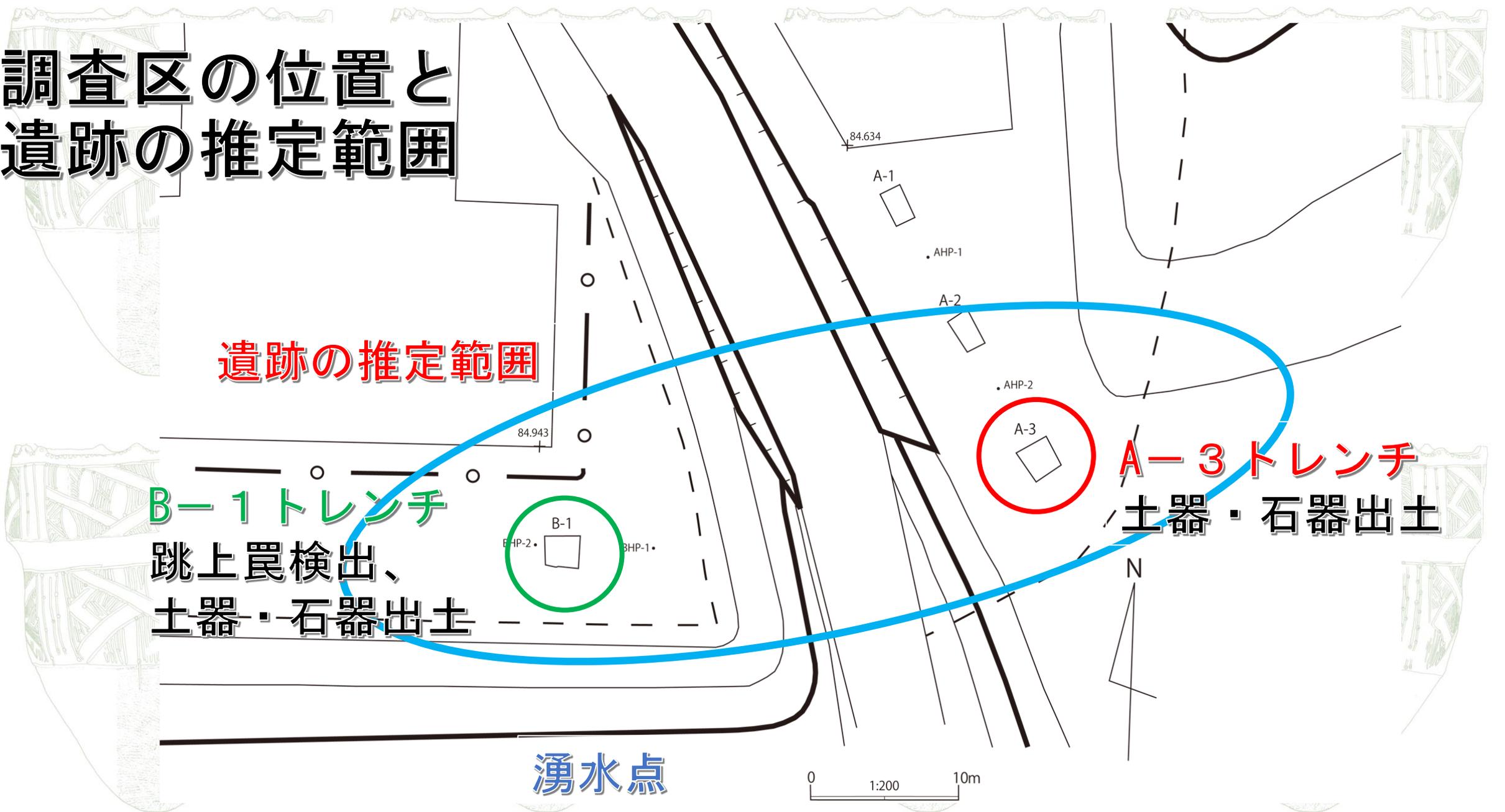
B-1 トレンチ
跳上罫検出、
土器・石器出土

A-3 トレンチ
土器・石器出土

湧水点



0 1:200 10m



今年度の調査について

8月19日～8月23日

- これまでに縄文時代早期後葉の遺物が採集されているので、遺跡の範囲を確認するための試掘調査を実施した。
- 南側からの進入路の東西に試掘トレンチを設定し、発掘を行った（A区：3ヶ所、B区：1ヶ所）。
- A-1トレンチ、B-1トレンチから縄文早期後葉の土器、石器が出土した。
- B-1トレンチでは、跳上罫（はねあげわな）の柱穴と推定される遺構が検出された。



発掘調査の参加者

発掘調査のようす



A-1 トレンチの調査



B-1 トレンチの調査



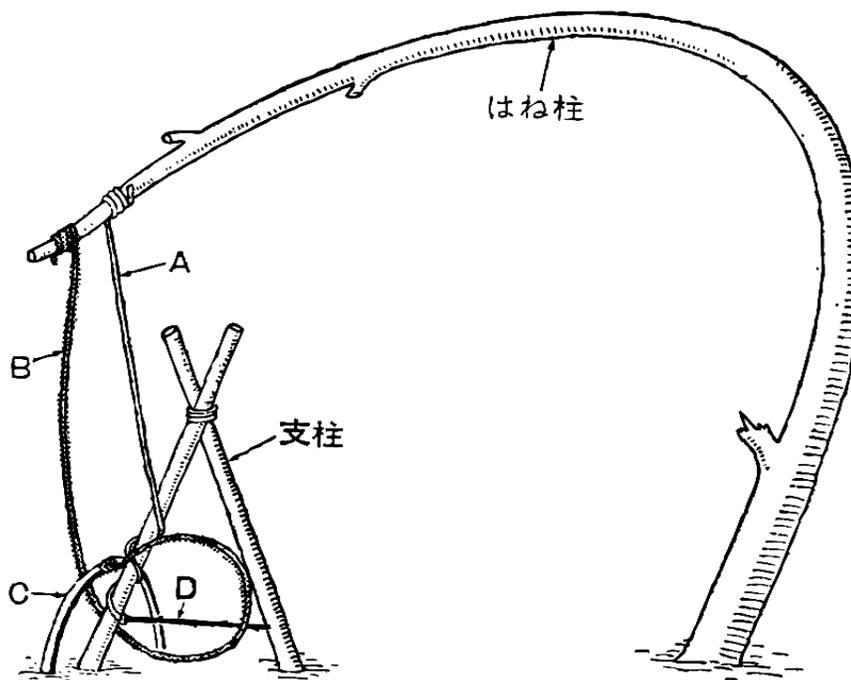
A-1 トレンチの測量のようす



B-1 トレンチの測量のようす

検出された遺構

- B区にて縄文時代早期後半のピットを複数検出
- 跳上罝猟が行われていた可能性がある



ニューギニア・アヤニ族の跳上罝 (本多勝一1964)

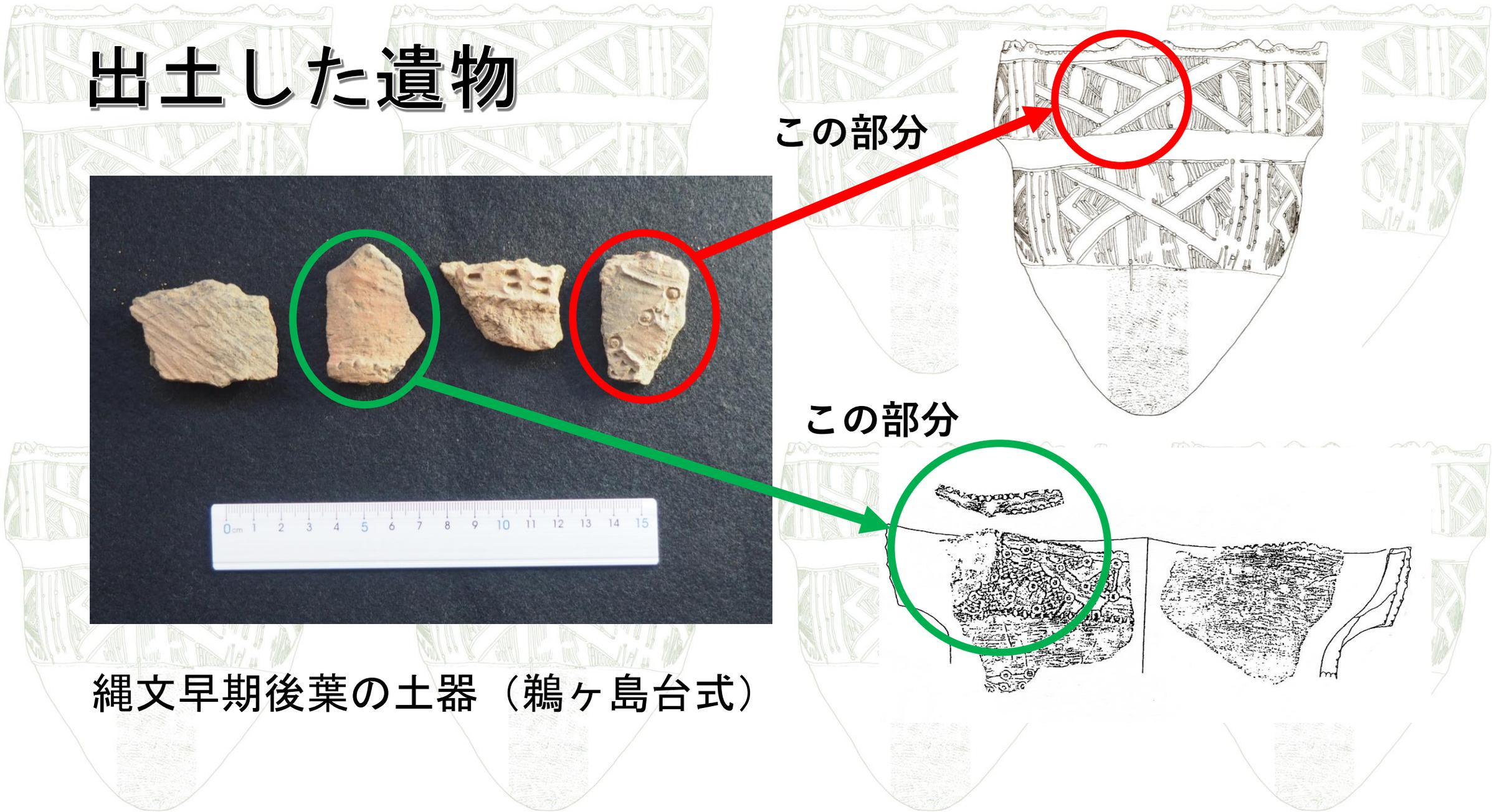
出土した遺物



この部分

この部分

縄文早期後葉の土器（鶺ヶ島台式）



縄文まつり①

- 中根八幡神社境内で実施
- 縄文文化の普及活動
- 地域住民との親睦をはかる
- 中根八幡遺跡の見学



縄文なべ

なかね 縄文まつり

8月24日(土) 10時～15時



中根八幡遺跡の遺物展示

縄文なべ試食・縄文クッキー作り・石器で料理！

縄文の音体験 ♪ 石や角をたたいてリズム演奏



問い合わせ

國學院大學栃木短期大学

日本文化学科

日本史フィールド

0282-22-5511 (代)

場所：栃木市藤岡町中根330 中根八幡神社境内

中根八幡遺跡の位置や昨年の発掘成果についてはホームページをご覧ください。

<https://www.kokugakuintochigi.ac.jp/tandai/>

主催：國學院大學栃木短期大学

協力：中根地区・栃木市教育委員会



縄文なべを楽しむ参加者

縄文まつり②

- 人間教育学科（子ども教育フィールド）とのコラボで実施



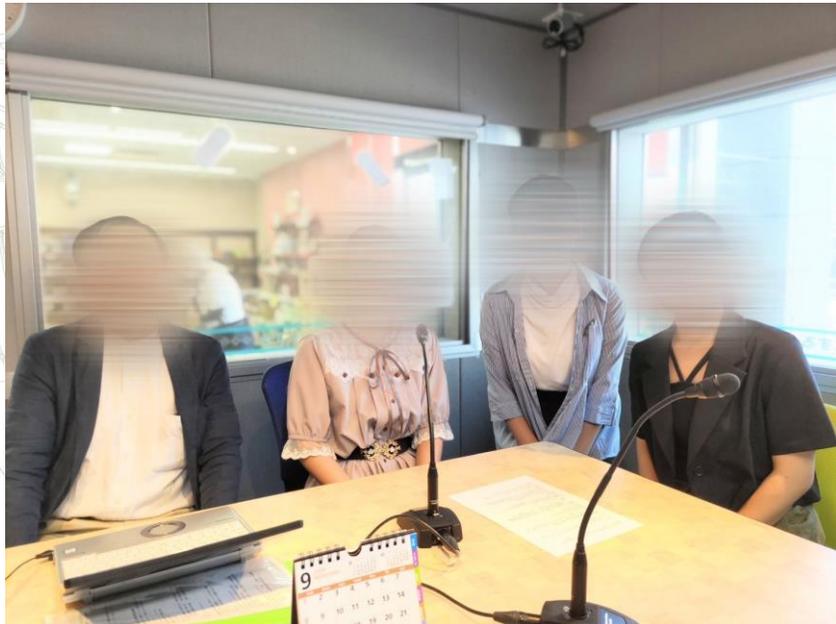
縄文おどり



縄文の音体験

広報活動

- 新聞に掲載されました。（東京新聞、下野新聞）
- 栃木ケーブルテレビで縄文まつりの様子が8月26日に放映されました。
- 栃木ケーブルテレビで学習講座が10月6日・11月9日に放映されました。
- FMくらはら857（栃木市のコミュニティFM放送局）に9月6日に出演しました。



スキルアップ研修 9月28日

埼玉県立歴史と民俗の博物館を見学



学習講座

「栃木の縄文文化をもっと知ろう」



学習講座「栃木の縄文文化をもっと知ろう！」

◇縄文時代早期の文化について理解するための、考古学研究者による専門講座です。

第1講「関東地方の縄文早期の土器」中村 信博 (茂木町教育委員会)

第2講「北関東の早期の土器とヒトの動き―群馬県を中心に―」文挾 健太郎 (藤岡市教育委員会)

日時：令和6年10月6日(日) 13:00~16:00

会場：きららの杜とちぎ蔵の街楽習館 (栃木市市民交流センター)

募集人数：30人 (先着順)

第3講「栃木の縄文時代が始まる頃」芹澤 清八 (シン技術コンサル技術顧問)

日時：令和6年11月9日(土) 13:00~14:30

会場：きららの杜とちぎ蔵の街楽習館 (栃木市市民交流センター)

募集人数：30人 (先着順)

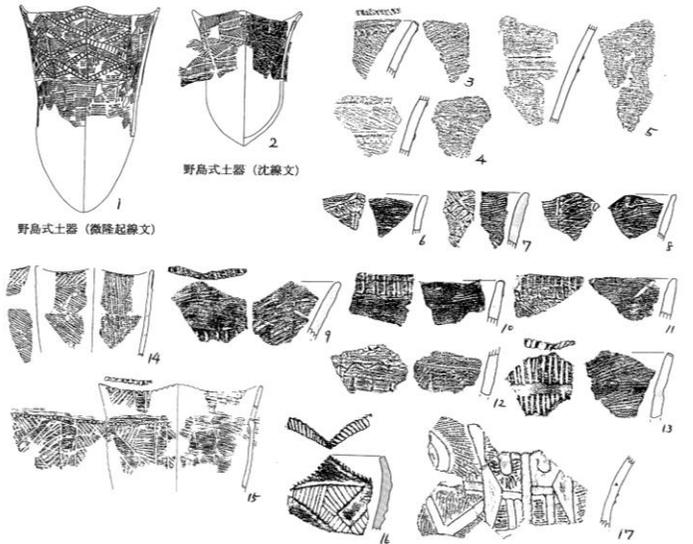


学習講座（第1講） 10月6日

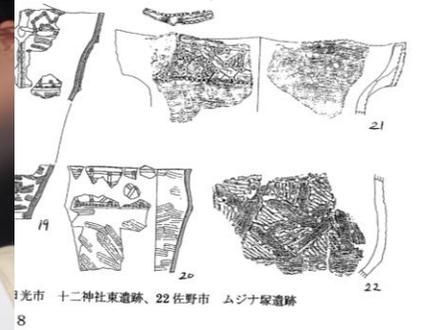
「関東地方の縄文早期の土器」

中村信博氏（茂木町教育委員会）

- ・ 関東地方周辺の縄文時代早期の土器の型式、変遷について学ぶことができた。
- ・ 栃木県で出土した特徴的な石器を見せていただきました。
- ・ 参加者31人



3～5茂木町 登谷遺跡、6～13佐野市 黒袴台遺跡、14那須町 木下遺跡
15小山市 治松遺跡、16上三川町 磯岡遺跡、17鹿沼市 津村遺跡



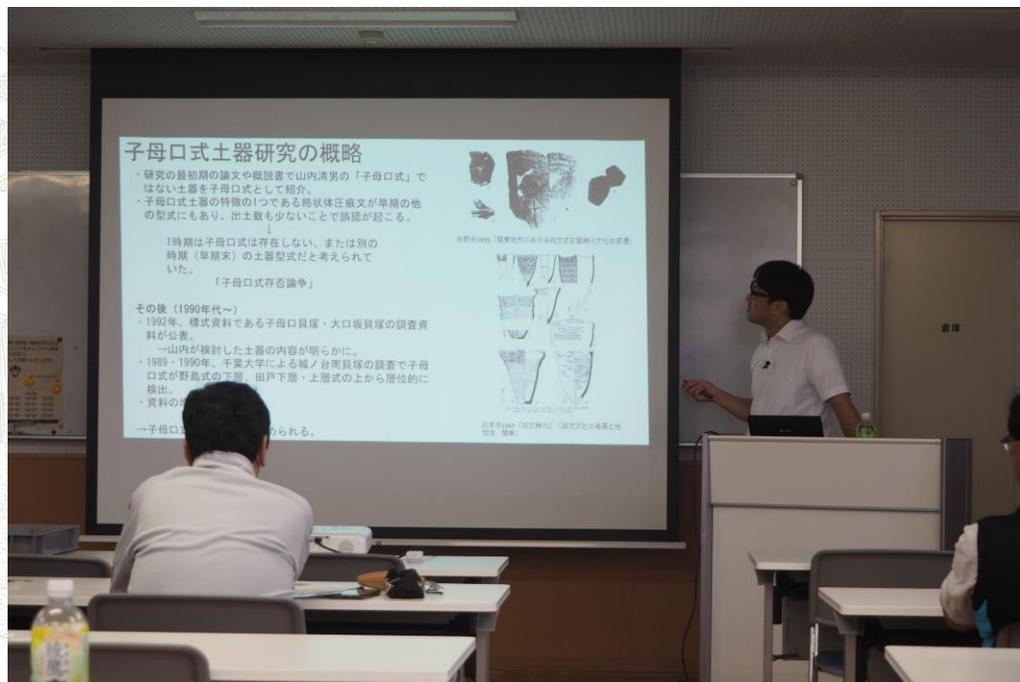
19光市 十二神社東遺跡、22佐野市 ムジナ塚遺跡
8

学習講座（第2講） 10月6日

「北関東の早期の土器とヒトの動き—群馬県を中心に—」

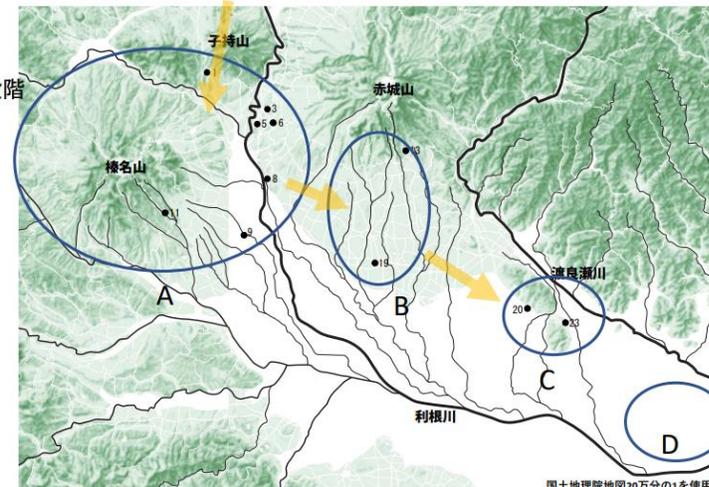
文挟健太郎氏（藤岡市教育委員会）

- ・ 縄文時代早期は人口がとても少なかった。
- ・ 遺構はほとんど検出されておらず、規模も小さい。
- ・ 短期的な移動・非定住的な生活様式が想定されていることがわかった。



I 期

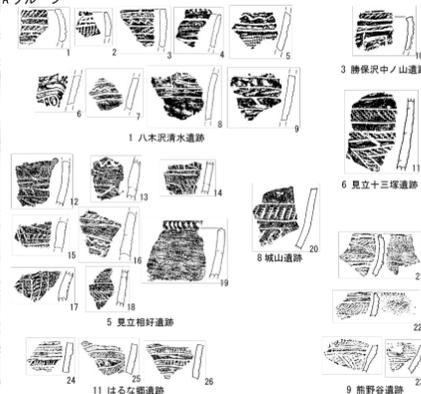
田戸上層式古段階
約9200ca I BP



国土地理院地図20万分の1を使用

I 期

Aグループ



Bグループ

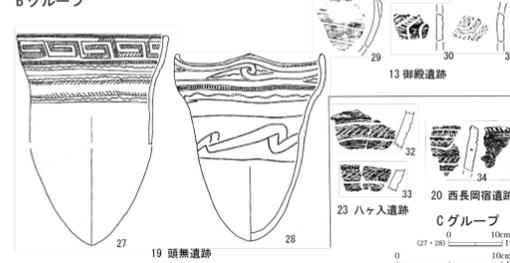


図2 I期の土器型式（田戸上層式古段階併行）

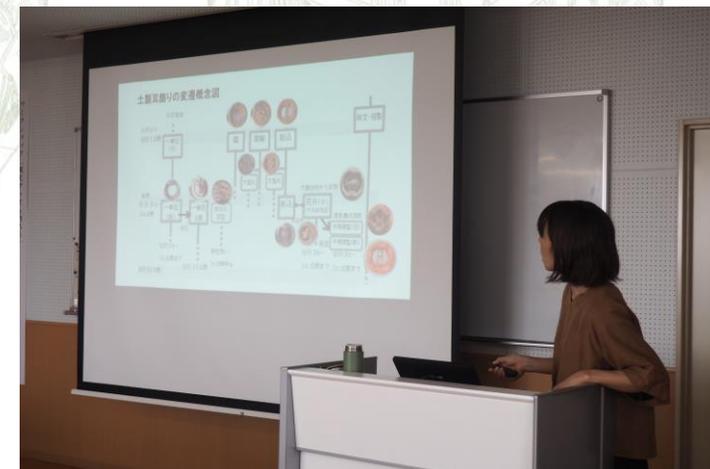
ワークショップ（耳飾りづくり）

10月12日

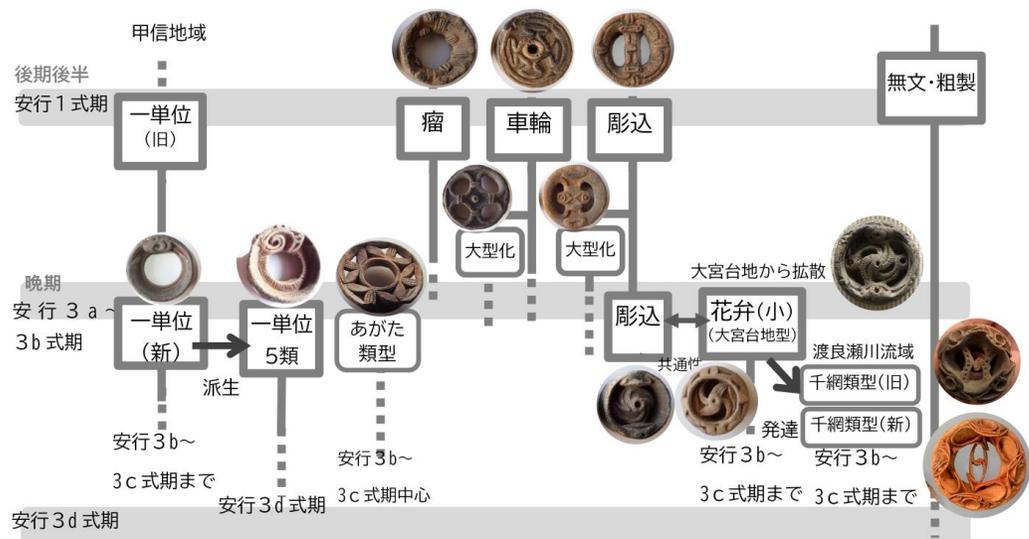
「オーブン粘土で縄文耳飾りを作る」

角田祥子氏（榛東村生涯学習課課長補佐）

- 縄文時代の耳飾りの概要について解説していただきました。
- 参加者はオーブン粘土を使って縄文耳飾りを作りました。
- 参加者12人



土製耳飾りの変遷概念図



足利市あがた駅南遺跡から出土した耳飾り



ワークショップ（縄文グッズづくり） 10月26日

第2回「縄文の小物づくり」

- 学校祭にて、学生が主体となったワークショップを開催しました。
- 参加者にプラバンや缶バッジを作ってもらいました。
- 学園資料館にて夏に発掘調査を行った北寺遺跡の速報展も開催しました。



シンポジウム 11月2日

「中根八幡遺跡の土器から見た文化交流

— 渡良瀬川流域の縄文時代後・晩期土器の様相 —

- ・ 國學院大學栃木短期大学にて開催
- ・ 多くの市民や研究者の方々に参加していただきました。
(参加者75人)



栃木の縄文時代をもっと知ろう!

〈シンポジウム〉

「中根八幡遺跡の土器から見た文化交流

— 渡良瀬川流域の縄文時代後・晩期土器の様相 —

第1部 基調報告

「土器から文化交流を探る—中根八幡遺跡の土器を中心に—」

中村耕作 (国立歴史民俗博物館准教授)

「渡良瀬川流域の後・晩期の土器と土版・岩版」

江原 英 (とちぎ未来づくり財団埋蔵文化財センター調査研究課長)

「北関東の後・晩期の土器の様相」

林 克彦 (五島美術館学芸部長)



第2部 発表者によるパネルディスカッション

日時 令和6年11月2日(土) 13:00~16:00

会場 國學院大學栃木短期大学西3号館735教室

定員 100人 (先着順)

申込先 國學院大學栃木短期大学日本史フィールド

電話: 0282-22-5511

メール: daikuhara@kokugakuintochigi.ac.jp

申込締切 開催前日

主催 國學院大學栃木短期大学

協力

栃木市教育委員会
とちぎ未来づくり財団埋蔵文化財センター



↑詳しくはこちら
國學院大學栃木短期大学HP

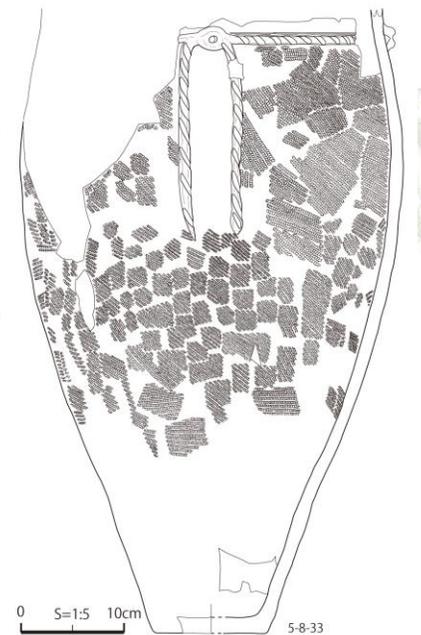
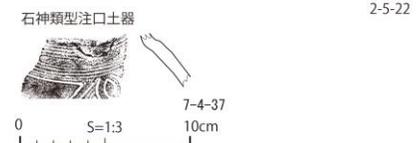
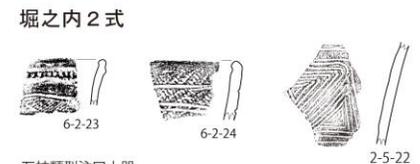
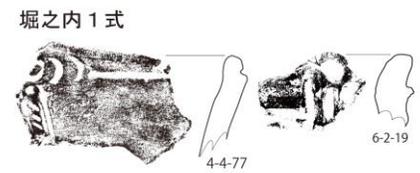
この行事は、令和6年度栃木県大学地域連携活動支援事業「文化交流の交差点「栃木」の起源を縄文時代に探るVI」の一環として実施するものです。

第1部 基調報告①

「土器から文化交流を探る — 中根八幡遺跡の土器を中心に —」

中村耕作氏（国立歴史民俗博物館准教授）

- ・ 國學院大學栃木短期大学が9年間調査を行った中根八幡遺跡の土器の概要について説明しました。



第1部 基調報告②

「渡良瀬川流域の後・晩期の土器と土版・岩版」

江原 英氏（栃木県埋蔵文化財センター調査研究課長）



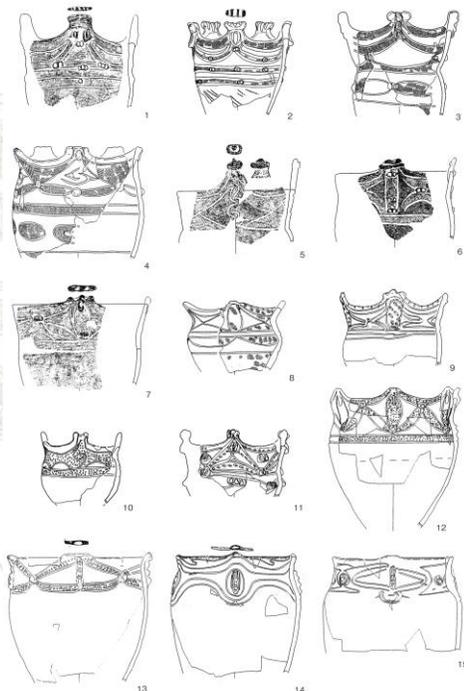
1 北関東地方における
縄紋晩期の土器様相

2 土版の概要と分類の視点

3 関東地方における土版の
分類と系統

4 東北地方南部における
土版の分類と系統

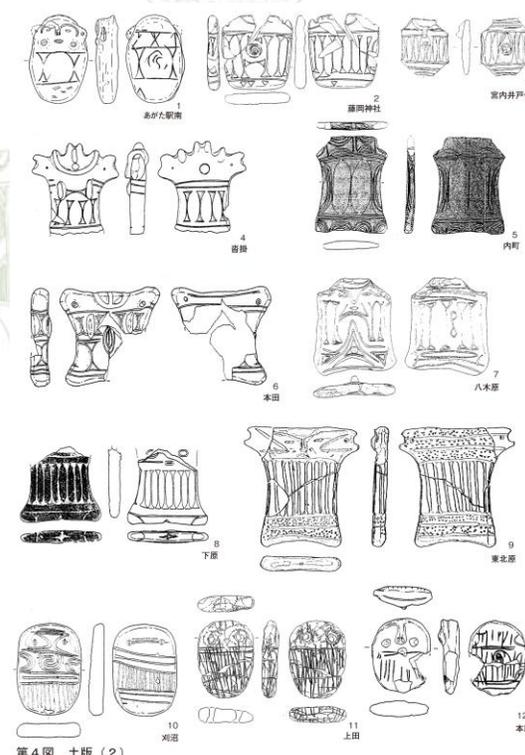
5 関東地方における岩版例



第1図 あがた駅南遺跡出土晩期安行式・天神原式



第3図 土版(1)



第4図 土版(2)

第1部 基調報告③

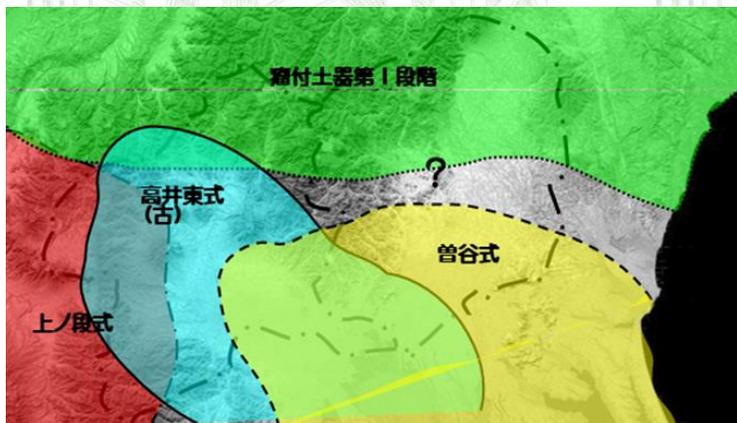
「北関東の後・晩期の土器の様相」

林 克彦氏（五島美術館学芸員部長）

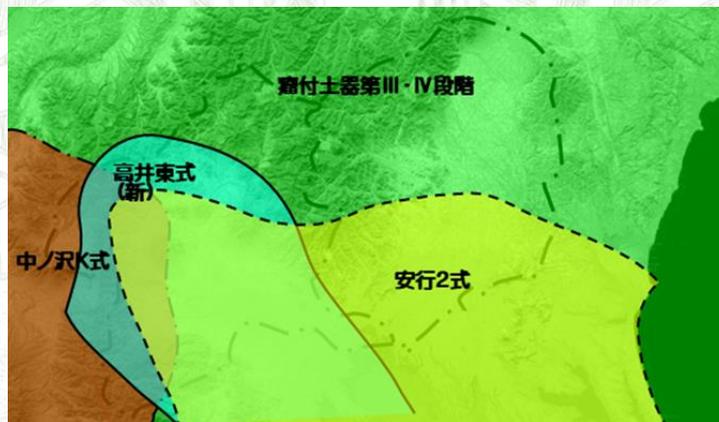


- 栃木県南部は目まぐるしく土器型式圏が変化していることを解説されました。

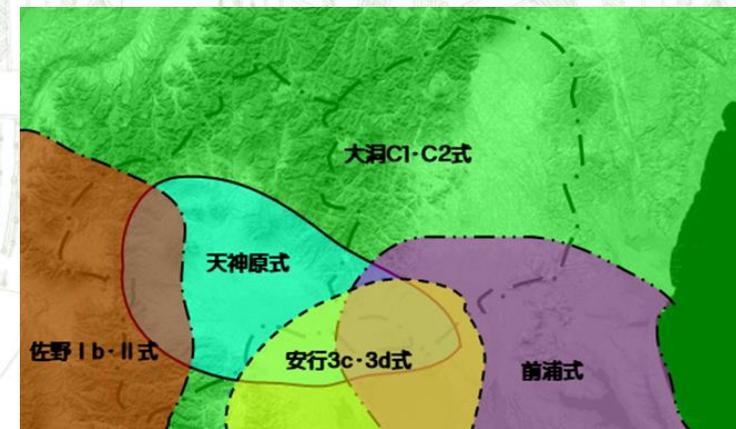
時期区分	関東地方南部	群馬県	栃木県南部	東北地方
後期後葉	曾谷	曾谷/高井東/上ノ段	曾谷/高井東	癩付土器Ⅰ段階
	安行1	安行1/高井東/中ノ沢K	安行1/高井東	癩付土器Ⅱ段階
	安行2	安行2/癩付土器/中ノ沢K	安行2/癩付土器	癩付土器Ⅲ・Ⅳ段階
晩期前葉	安行3 a	大洞B/安行3 a/中ノ沢B	大洞B/安行3 a	大洞B
	安行3 b	大洞B C/安行3 b/佐野Ⅰ a	大洞B C/安行3 b/姥山Ⅱ	大洞B C
晩期中葉	安行3 c	大洞C 1/安行3 c/天神原/佐野Ⅰ b	大洞C 1/安行3 c/天神原	大洞C 1
	安行3 d	大洞C 2/天神原/佐野Ⅱ	大洞C 2/安行3 d/前浦	大洞C 2



曾谷式期



安行2式期



安行3c・3d式期

第2部 パネルディスカッション

- 渡良瀬川流域の縄文時代後・晩期土器の様相について、発表者による活発な討論が行われました。
- 参加者の皆様は熱心に興味深く耳を傾けていました。
- 参加者から発表者へ質問が投げかけられる場面もありました。



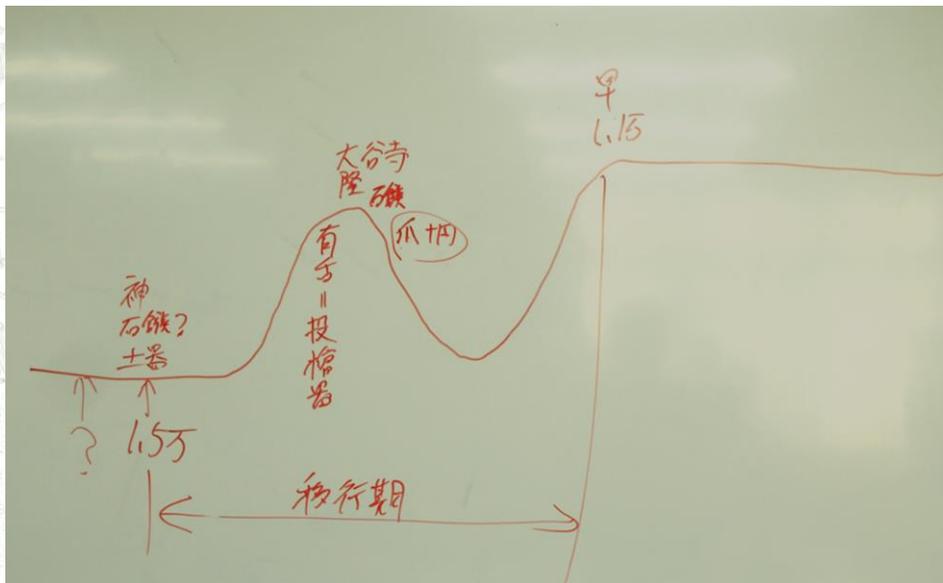
コメントする参加者

学習講座（第3講） 11月9日

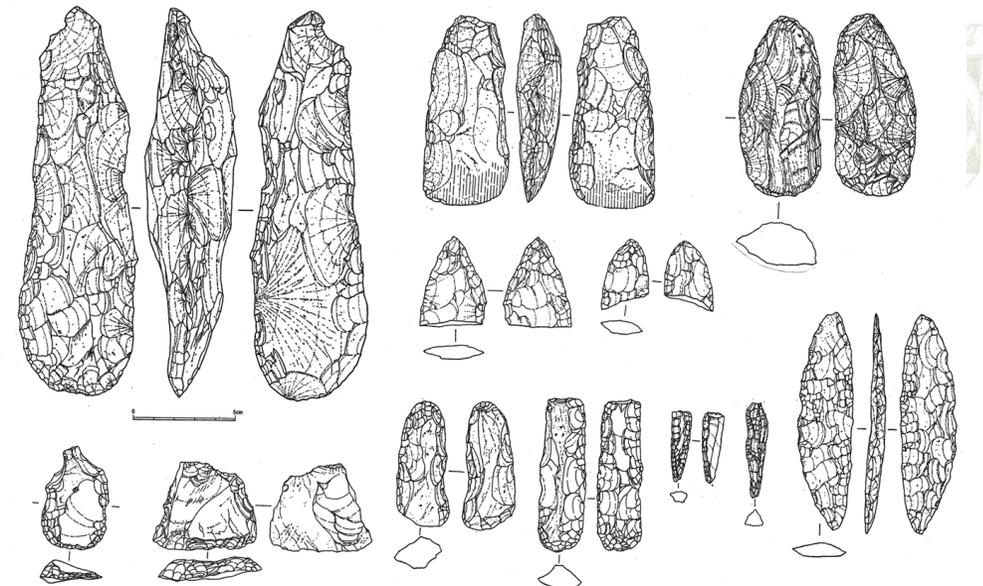
「栃木の縄文時代が始まる頃」

芹澤清八氏（シン技術コンサル技術顧問）

- 縄文時代草創期の研究の歩みや、縄文時代最古の神子柴文化の遺跡の概要について解説していただきました。
- 栃木県内の神子柴文化の遺跡や草創期の土器が出土している大谷寺洞穴の概要について説明していただきました。



旧石器時代～縄文時代にかけての気候変化



大谷寺洞穴遺跡出土

ワークショップ（石鏝づくり） 11月9日

第3回「黒曜石で石鏝を作る」

大工原豊（國學院大學栃木短期大學）

- 押圧剥離という方法で黒曜石を加工し、矢じりを作りました。
- 想像以上に難しくなかなか完成品を作ることができませんでした。
- 参加者は縄文人の技術力の高さに感心していました。



ワークショップ（縄文グッズ） 11月16日

第4回「縄文の小物づくり」

- 学生が主体となってワークショップを開催しました。
- 参加者にはプラバンや缶バッジをメインに縄文グッズを作ってもらいました。
- 17人の方々に参加していただきました。親子の参加者も多くいました。



速報展

12月11日～12月24日

- 栃木市役所にて、北寺遺跡発掘調査速報展を実施しました。
- 見学者は約70人でした。
- 縄文小物の配布を行いました。(70個配布)

ドキ土器!? 発掘調査 in 2024

北寺遺跡とは?

栃木市都賀町の聖地公園南端部に位置する縄文時代早期後半(約7500年前)の遺跡です。
湧水点を取り囲む位置にあり、縄文時代の狩人たちが陥穴(おとしあな)を設けたり、狩猟キャンプを営んだ場所と推定されます。
今年度が初の調査。栃木県内では早期の遺跡は3ヶ所確認されており、縄文時代では最も古い段階の遺跡であるとされています。



調査区の位置(北西から撮影) 上空から見た遺跡の位置

今年度の調査について 8月19日～8月23日

これまでに縄文時代早期後半の遺物が採集されているので、遺跡の範囲を確認するための試掘調査を実施しました。
南側からの進入路の東西に試掘トレンチを設定し、発掘を行いました(A区:3ヶ所、B区:1ヶ所)。
A-1トレンチ、B-1トレンチから縄文早期後半の土器、石器が出土しました。
B-1トレンチでは、跳上瓦の柱穴と推定される遺構が検出されました。



発掘調査の様子

出土した遺物



この部分



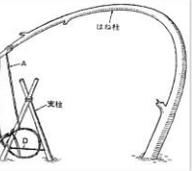
この部分

うがしまたい 縄文早期後葉の土器(鶉ヶ島台式)

検出された遺構



B区にて縄文時代早期後半のピットを複数検出しました。
はねりや 跳上翼狐が行われていた可能性があります。

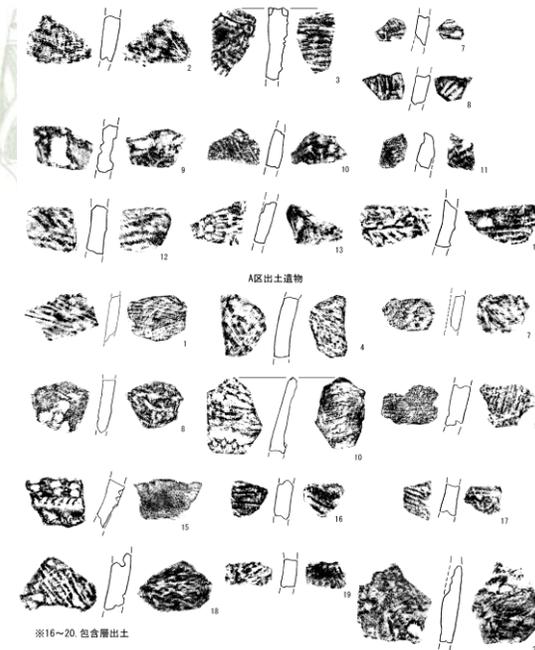


ニューギニア・アヤニ族の跳上瓦(本多清一1964)



北寺遺跡報告書作成のための遺物整理

- 北寺遺跡報告書作成のため、出土した遺物の整理作業を行いました。
- 発掘調査時の記録写真の整理
- 出土遺物の撮影
- 土器の拓本・断面図



B区出土遺物
第6図 出土土器実測図





ご静聴ありがとうございました

